

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2018年6月発行

5月12日(土)に「登録グループのつどい」を開催し、昨年度のさんかくカレッジ(市民企画)の報告やグループ間の交流などを行いました。現在、42のグループが登録されており、それぞれ活発に活動されています。「はもりあ四日市」には、それぞれのグループの活動紹介や情報コーナー、図書コーナーなど、何かを始めるヒントがたくさんありますので、ぜひお気軽にお越しください。

## ★突撃!市長インタビュー(後篇)

家事に育児に奮闘されている育休中の森市長にお聞きしました

Q: 初めて育休をとられて、率直な感想をお願いします。

また何が一番大変でしたか?

市長: 率直な感想として、取って良かった。“家事全般やる”と、かなりハードルをあげてしまったので、初日はすごいプレッシャーでした(笑)。新しい気づきが多く、特に子どもの生活は、今まで見えなかったことが見えてきました。子どもとは、朝だいたい同じ時間に家を出て、子どもが寝る前に帰宅という感じだったので、日常の様子がわからなかったし、それほど気にしていなかった。大変だったのは、初日の朝食作り。朝起きて作れると思っていたのですが、水筒のお茶入れや給食の準備とやることがいっぱいあるけれど、時間は迫ってくる。混乱で終わってしまいました。分かっているつもりでいたのですが、全体像が見えていなかったです。

あと、妻が用事で外出し、三男と2人きりの時があったのですが、妻がいなくなったとたん泣くんです。妻から「おとなしくて楽だから、ゆっくりしていればいいよ」と言われて、ゆっくりしようと思っていたのですけれど(笑)。困ったというより疲れたというのが正直な感想です。

Q: 家族の反応はいかがでしたか?

市長: 子どもが予想以上に喜んでいました。子どもを出迎えることなど今までなかったので、“家に帰るとお父さんがおる!”と言い、料理をしていると興味をもって一緒にやってくれました。

Q: 育休中、仕事のことは気になりましたか? 職場とのやりとりとか

市長: この5日間は切り離そうと意識していました。どうしても場合は連絡が入りましたが、ほとんどなかったです。周りも配慮してくれていたのだと思います。ある意味、家事・育児に特化することが、役目というところもあったと思います。

Q: 最後に、これから育休を考えている人、迷っている人にメッセージをお願いします

市長: 育休は、人生の中で限られた期間にしか取れないものです。ぜひ積極的に取ってもらいたいです。思っていた以上に気づきがあって、育休だからわかることがたくさんあります。今回、父親としてもですが、市長として体験できたことは良かった。家事量も多く、家事の大変さや水面下の作業量にびっくりしました。また育児は精神的にも大変で、1日家にいるのはしんどい。育児者がリフレッシュできる、コミュニティの大切さを実感しました。市の子ども施策を展開していく中で、少なからず育児に専念する人の気持ちが分かりましたし、行政の大切さも分かりました。職員が経験することで、行政職員としての幅も広がるのではないかと思います。



[ パートナーから贈られた  
エプロンが板についた市長 ]

「家族のコメント」



初日は、夫がいる生活に慣れていないので、あたふたしてイライラすることもありましたが、2日目からはそんなことはなくて、出来ないなりにやってくれていることがすごく伝わってきて、正直ここまでしてくれると思っていなかったのびびっくりしましたし、すごく助かりました。家庭人として100点満点です。子どもたちにもいい思い出になったと思います。

人生初の育休を、「取ってよかった」と繰り返し話された森市長。育休を通して大きな意識の変化を感じられたようです。昨年3月に“イクボス宣言”をされ、「子育てするなら四日市」の旗印のもとワーク・ライフ・バランスの推進を掲げる中で、市長として、育休経験をどのように展開していかれるのか注目です。

# 女性自治会長さん インタビュー

身近な暮らしの場である地域生活において、男女ともにお互いの意見が尊重され、誰もが暮らしやすいまちづくりをしていくことは、男女共同参画の推進には欠かせません。そのために、大切な事を決める場に女性も参画していくことが重要です。はもりあ四日市では、4回にわたり地域のリーダーとして活躍しているらっしゃる女性自治会長さんに、お話を伺います。第1回目は、港地区千歳町自治会長の藤村まさみさん、八郷地区伊坂台自治会長の小田あけみさんのお二人にお話を伺いました。

Q1:自治会長になったきっかけ

Q2:自治会長として大変に思うこと、また心がけていること

Q3:地域活動の中で女性の参画状況

Q4:自治会長をして良かったこと、これからに向けてメッセージ

港地区千歳町自治会長

藤村まさみさん

**A1**自治会長になって5年目になります。それまで夫がしていたのを引き継ぎました。自治会長になって自分の住んでいる地域のことを知る機会になり、気付くことがたくさんありました。

**A3**港地区は12町ありますが、女性の自治会長は私ひとりです。高齢者も多いので、役を引き受けていただける人材は難しいですが、ボランティアとして協力してくれる方が少しずつふえてきているのでうれしいです。



**A2**うちの地区は企業も多く、パイプラインとかが埋まっているのですが、安全面のこととか企業さんと話をしてもまだまだわからないことが多いです。家の前に埋まっているにも関わらずあまり関心がなかったんですね。総会などで話にできることはあるけれど、みなさんその場限りでおわってしまうことが多い。高齢者やお一人暮らしの方も多い地区ですので、声掛けして、助け合わないと思っています。自治会長として“みんな仲良く”を心がけています。

**A4**いろいろな勉強会等に参加させていただき視野が広がりました。女性目線の気づかいは、場を和ませます。ぜひ女性にがんばってもらいたいです。一歩をふみだしてほしいです。

八郷地区伊坂台自治会長

小田あけみさん

**A1**3年目になります。10年程前、夫が自治会長をしていた時「もっとこうしたら良いのに」と思うことがありました。そこに3年前、工事の関係で地域住民が困っているのを聞き、「自治会で何とかしてあげたら良いのに」と思ったことから「誰もしないのなら自分がしよう」と、手を挙げました。

**A3**私の地域では、自分たちの世代までは、女性が主役で、男性は活動に参加してこないイメージでしたが、今は、現役世代の男性が参加してくれるようになりました。昔は夫が引き受けると妻も手伝う形が多かったように思いますが、今は夫がひとりで引き受けていらっしゃるって男女参画と言う意味では、意識が変わってきていると感じています。



**A2**若い世代が日々の生活で精一杯で、自治会に関与したくないと思っているのを知った時、これは大変だと思いました。問題がおきた時、何らかの解決に力を貸せる、個人ではできないことを自治会という形で関与して、必要な場所に声を届けられるそんな自治会長でありたいと思い、活動しています。

**A4**地域に対して愛着が増しつながらを感じます。一人で生きているのではなく、他の人の助けがあって生きていると感じています。“自治会があって良かった”と もっと多くの人に知ってもらい、“あって良かった”という理由を自分なりにみつけてもらいたいです。押し付けるのではなく、思いやりのある支え合うような町にしていきたいと思っています。

今回のインタビューの中で、お二人とも、とりまく環境は違うけれど、とてもご自身の地域を大切に思い、活動されていらっしゃる様子が伺えました。貴重なお時間ありがとうございました。第2回は8月です。



# 相談室 から

## はもいあ四日市相談室のご案内

### まずは、お気軽にお電話を

#### 女性の相談員による 女性のための電話相談

火曜日～土曜日 9:00～16:00  
水曜日 18:30～20:30

《専用電話》

**059-354-8335**

- ★市内に在住、または通勤、通学する女性なら、どなたでも利用できます。
- ★お一人 30 分程度
- ★相談は無料です。 ★秘密は厳守します。

電話で相談員と問題を整理の上、必要に応じておつながります。

#### 面接相談【予約制】

お一人 60 分程度

面接相談の後、必要に応じて、

#### 法律相談

#### 臨床心理士相談

も受けられます。

相談内容は・・・

- 自分自身の生き方
- 夫婦のこと
- 男女のこと
- 離婚のこと
- 家族のこと
- 夫婦間・恋人間の暴力
- 職場の人間関係 など



#### 男性の臨床心理士による 男性のための電話相談

毎月第4土曜日 13:00～15:00  
(10月と来年2月は第4金曜日)

《専用電話》

**059-354-1070**

- ★市内に在住、または通勤、通学する男性なら、どなたでも利用できます。
- ★お一人30分程度
- ★相談は無料です。★秘密は厳守します。

#### 今月のキーワード

### 男女共同参画週間

「男女共同参画週間」は、「男女共同参画社会基本法」が公布・施行された平成 11 年 6 月 23 日を踏まえ、毎年6月 23 日から 29 日までの1週間、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目的に実施され、この週間に合わせて、さまざまな取り組みが各地で行われています。

内閣府は毎年この週間のキャッチフレーズを決めており、今年度は「スポーツに関わるあらゆる分野での女性の参画を推進し、様々なスポーツに男性も女性も親しみ、チャレンジし、活躍できるようになるためのキャッチフレーズ」を募集し、「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」に決定しました。

四日市市でも、三重県下の 20 市町と連携して、「三重県内男女共同参画連携映画祭」を開催します。12 回目を迎える今年は、差別を受けながらも NASA（アメリカ航空宇宙局）を支えた知られざる黒人女性たちを描いた『ドリーム』を、6 月 23 日（土）に“あさけプラザ”ホールで上映します。ぜひご参加いただき、この機会に「男女共同参画」について考えていただけたらと思います。

男女共同

## さんかくeye

あい

このコーナーでは、はもいあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点 ✨ を通してね。

早いもので、親元を離れて約 10 カ月が経ちました。ある程度生活に慣れてきましたが、「家事を一人でこなせる」という状況には程遠いと感じています。

まず、料理について。朝にお弁当が作れません。帰宅後の調理は時間がかかるので、私が作る時は『野菜炒めとサラダ』など簡単な料理しか作れていません。次に、洗濯について。洗濯→干す→取りこむ→畳むまではスムーズにできるのですが、収納するのが苦手で、後回しになりがちです。最後に、掃除について。気になったところは掃除機をかけますが、「まだ残っている」と指摘されることが多々あります。

家事は上記以外にもたくさんあり、いつかは子育ても加わるかもしれません。共働きで生活を送るためには、家事・育児など協力し合う必要があります。現在はパートナーの負担の方が大きいため、二人で協力してやっていけるよう、私もしっかりこなしていきたいです。 【汗ばむ回数が増えてきた担当：D】

# 今年度 男女共同参画週間の取り組みです

6月23日～6月29日

“男女共同参画週間”については、中面「キーワード」で詳しく書いています。

キャッチ  
フレーズ

走り出せ、  
性別のハードルを超えて、今



三重県内  
男女共同参画  
連携映画祭  
2018 **ドリーム**



6月  
23日

会場 四日市地域総合会館 あさけプラザ ホール  
時間 13:30～15:45 (開場13:00)  
字幕上映

料金 無料ですが、整理券が必要です。定員 300名(先着順)

四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」  
市民生活課、あさけプラザ  
5月23日水～  
三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」  
鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」  
菟野町企画情報課

託児 無料(6カ月～小学3年生程度、6月13日(水)締切、先着15名程度)  
【主催・お問い合わせ】  
四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」 TEL:059-354-8331

©2016 Twentieth Century Fox

三重県内  
男女共同参画  
連携映画祭  
2018  
6/9日～8/18日

## 「ドリーム」

### 上映のお知らせ

【日時】平成30年6月23日(土)

13:30～15:45 (開場13:00)

【会場】四日市地域総合会館 あさけプラザ ホール

【定員】300名(先着順)

【参加費】無料ですが、**整理券**が必要です。

※整理券は、はもりあ四日市・市民生活課・あさけプラザ・フレンドみえ・ジェフリーすずか・菟野町企画情報課で配布しています。

【託児】無料：6カ月～小学3年生程度

※先着15名程度・要事前申込み 託児申込×切6/13(水)

## 予告

はもりあ四日市が企画運営する講座・イベントを、3つ紹介します。

詳しくは、広報よっかいち6月下旬号にてお知らせします。ご参加をお待ちしています♪♪♪

《夏休み子どもさんかくカレッジ》

第1弾「小さな職人！本物そっくり、  
食品サンプルを作ろう」

日時：平成30年7月26日(木)

10:00～12:00

食品サンプルピザのフォトフレーム  
を作ります。男女共同参画について  
も、ちょこっと学びます。

《橘ジュン講演会》

漂流する少女たち「無関心社会」の罪  
～若年女性を取り巻く現状～

日時：平成30年7月28日(土)

13:30～15:30

夜の街を漂流する少女たちは、何を  
考え、どこへ向かうのか。居場所を求  
めて彷徨う少女たちの声なき声に耳  
を傾ける活動をされている橘ジュン  
さんに、想像を超える少女たちのリア  
ルをお話いただきます。

《夏休み子どもさんかくカレッジ》

第2弾「お菓子作りで多文化体験」

日時：平成30年8月4日(土)

10:00～12:00

ブラジルの伝統菓子「ブリガデイ  
ロ」を作ります。男女共同参画につい  
ても、ちょこっと学びます。

◎●◎あとがき◎●◎

梅雨入りとなる6月は、唯一祝日のない月で、漫画『ドラえもん』においてのび太が「1年を通じて最も不愉快な月だ」と言っています。のび太は、ドラえもんの道具『日本標準カレンダー』を使って、6月2日を「ぐうたら感謝の日」と定め、「誰も働いてはいけない日」としました。今、国会では働き方改革で熱い議論がなされていますが、この発想はメリハリをつけるということで、仕事の効率化と休息のヒントになるのではと思います。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml